

5 新しい農林水産業の取り組み

1 農林漁業の6次産業化

～いろいろな分野に挑戦する生産者たち～

畑で野菜や果物をつくったり、牛や豚を育てるなど、おいしい食材を生産している人たち。また、日本海でいろいろな魚をとっている人たち。中にはそれだけではなく、自分たちで直接販売したり、食材に手を加えて加工食品にしたり、食材を調理して料理を提供したりする「6次産業化」にチャレンジする人たちが増えています。

とれたての新せんな野菜や魚を販売する直売所。自分たちのつくった野菜や果物のおいしさを存分に引き出したスイーツやジュースなどの加工食品。旬の食材やその土地ならではの調理法が楽しめる農家レストラン。

「6次産業」って何？

農林漁業(1次産業)に加えて、加工(2次産業)、販売(3次産業)に取り組むこと。

「1次×2次×3次=6次」となることから、「6次産業」と名付けられました。



県内にはこのような人のアイデア^{まん}満さいの商品やお店がたくさんあります。みなさんもぜひ楽しんでみてくださいね！

県内の6次産業化事例^{じれい}



大江ノ郷自然牧場（八頭町）

にわとりを飼育して、その卵を使った料理やスイーツを楽しめるレストランを営業しています。



（株）アグリネット琴浦（琴浦町）

さいばいしたブルーベリーを紅茶^{こうちゃ}にしています。



おおた農園（米子市）

イチゴや米を生産し、米粉^{こめこ}ジェラートやいちご大福^{だいふく}などにしています。